

第4回福生市基本構想審議会（議事要旨）

■ 開催概要

日 時	平成20年11月20日（木） 14:00～17:00		会 場	第2委員会室
参加者	審議会 委 員	（出席） 鵜野 貴洋恵、加藤 浩子、小林 歌子、清水 貞夫、高田 ヒロ子、 高橋 勉、田村 利光、濱中 供子、日野 さよ子、村山 利夫、 山口 浩、山下 真一 （敬称略、委員名簿順）		
		（欠席） 辻山 幸宣、渡邊 一成		
	市職員	副市長、教育長、企画財政部長、企画財政部参事、都市建設部長、教育次長		
事務局	企画調整課長、課長補佐、主査、主任、主事			

配布資料	1 第3回福生市基本構想審議会（議事要旨）
------	-----------------------

■ 議事と要旨

1. 開会	・事務局より配布資料の確認
2. 会長あいさつ （山下副会長） （村山会長）	<ul style="list-style-type: none"> ・山下副会長より公務でのベトナム訪問の報告。 ・生活に慣れてしまうと、それが当たり前と感じてしまいがちであるが、外国の事情を伺うと、改めて私たちの生活がどのようなものであるかということを確認することができるのではないか。
3. 議題	<p>○まちづくりへの期待について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の「ひと」に続き、「まち」ハード分野と、「くらし」分野も合わせて意見交換。 ・委員からの主な意見の要点は次のとおりである。 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ・行政への次の質問がされ、事務局より現状について回答された。 <ul style="list-style-type: none"> ・住宅開発対応と宅地開発指導要綱など ・福生病院における医師確保の状況 ・福生市に定住する市民が増加するような対策が課題になっている。住宅建設への期待もあるが、法的には適合していても日照など住環境悪化の問題もある。緑化など市の宅地開発指導要綱等で対策をとることも必要である。 ・社会教育施設などに恵まれている。どのように活用するかが課題であり、運営の仕方も改善すべきである。 ・コミュニティスクールなど地域住民に学校の空き教室を開放することにより、子どもの見守り、地域を愛する子どもの育成につながる。 ・ふっさっ子広場の展開を進め、学校と地域のつながり、四小ファンクラブのような活動を充実していきたい。 ・安心安全まちづくりで、夜間、特に暗い道路に街灯などの整備が必要である。また、環境面にも配慮した取組みが必要である。さらに災害時の対策としても重要である。

- ・安心と安全まちづくりの具体化が必要である。長年放置されている危険箇所の改善など、子どもたちの通学路だけでも優先すべきである。大きな道路整備よりも通学路などちょっとした整備を促進したい。
- ・車中心から歩く人優先のまちづくりを進めたい。自転車が走りやすい車道等、また駐輪場の整備を進め、歩道への自転車放置などマナーも重要である。
- ・ハードのバリアフリー整備は障害者等の意見を取り入れ、使いやすい整備としてほしい。
- ・これまでの取り組みを活かし、環境負荷低減に配慮したエコのまちづくり、昆虫や鳥のことを考えたまちづくりを進めたい。木を1本切ったら2本植えるなど、具体的に実践する環境への決まりなど、環境都市づくりを。
- ・福生市の周囲ばかりが発展するといわれるが、福生市はかなり良い要素を持っている。
- ・崖線の活用など緑地・公園を歩いてつなぐ道、玉川上水遊歩道整備など、リフレッシュ、アルファ波、マイナスイオンが出る場をもっと増やしたい。
- ・昭和30年代の発想である産業道路の計画見直しも必要である。計画されていても時代や現状に合わせた見直しが必要である。環状道路を整備して利用できるほうがよいのではないか。
- ・公園もありきたりでなく、田んぼのある公園とか特色化を図りたい。
- ・整備等の事業費の安さだけを重視するのではなく、例えば、アスファルト舗装ではなく、歩くことに優しい道にしたい。当面はよくとも後で高くつくことが多く、たとえコストがかかるとしても、長期的な視点が重要である。
- ・歩道の電柱等が歩行者の邪魔となっている。標識や電線など1つの柱にまとめられないのか。
- ・福生市の特色は歴史と国際性であると認識している。具体的に国際性をどのように出していくかが課題である。
- ・横田基地は現実にあるのだから、交流等、活用すべき。
- ・横田基地との交流を進めている様々な市民団体があるが、個々にやっている。もっと連携し、真の多文化共生のまち、国際都市福生にしていきたい。
- ・米軍ハウスを生かし、観光につなげられないか。
- ・市内の5つの駅を中心に核になるものを設け、それを中心に周辺整備し発展できればよいが。
- ・福生駅西口の商業の再生も含め、駅西口の再開発は考えられないか。
- ・今の商業経営者の代限りの現状にあり、個店の商店街振興についてのモチベーションがあまり高くない。
- ・大型店舗化は便利なようで便利でない。高齢者に優しい商店街が望まれる。また福生ならではの特色あるもの、オリジナル商品などを開発できればよい。
- ・都市計画審議会などで、プランに対して異なる意見を述べるのが難しい状況がある。プラン作りの段階から市民参画が必要である。
- ・私たち市民が果たす役割、行政が果たす役割をお互い理解し、市民と行政の本当に良いコミュニケーションが不可欠である。

4. その他 (事務局)	・次回は12月15日(月)14:00~の開催。 ・これまでのご意見を基本構想素案としてまとめ、資料としたい。
5. 閉会	(17:00)

以上